

CASBEE-建築(新築)2016年版
 共栄製茶株式会社 南山城村工場 新築工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.3	
Q1 室内環境					0.30		-	2.7	
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		—		3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		—		3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能		—		3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		—		3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.7	0.35	-	-	2.7	
2.1 室温制御		—		2.5	0.50	-	-		
1 室温		—		3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能		—		1.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		—		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.4	0.25	-	-	2.4	
3.1 昼光利用		—		3.0	0.30	-	-		
1 昼光率		—		3.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口		—		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策		—		1.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		—		1.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		—		3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		—		3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
4.1 発生源対策		—		3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		—		3.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気		—		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		—		3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		—		3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理		—		3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		—		3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		—		3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.6	0.40	-	-	2.6	
1.1 機能性・使いやすさ		—		-	-	-	-		
1 広さ・収納性		—		-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		—		-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		—		-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		—		2.3	0.50	-	-		
1 広さ感・景観		—		3.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		—		3.0	0.33	-	-		
3 内装計画		—		1.0	0.33	1.0	-		
1.3 維持管理		—		3.0	0.50	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30	-	-	2.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振		—		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		—		3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		—		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		—		1.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		—		1.0	0.20	-	-		
3 電気設備		—		1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		—		1.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		4.2	0.30	-	-	4.2
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	軒高:8.8m ※断面図参照	5.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=252.20m/2700.00㎡=0.08 ※平面図参照	5.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり	製作機械の荷重より算定	5.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	1.4
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.0	0.30	-	-	1.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	1.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.13	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]=0.53	5.0	0.63	-	-	5.0
4	効率的運用		2.5	0.25	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水	-	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.14	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.29	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.29	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.29	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.4	0.20	-	-	4.4
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避	-	5.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用	5.0	1.00	-	-	
	3 冷媒	-	-	-	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

共栄製茶株式会社 南山城村工場 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○		○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-						○	○	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		2.0	-	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 経排水等再利用システム導入の有無				-											
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-				-										
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		-	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η) -			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
屋光率	1.5%				
自然換気有効開口面積率	3.3%				

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
コンセント容量	30.0 VA/m ²					
天井高	2.5 m					
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%			
想定耐用年数	30 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	9.5 m					
壁長さ比率	9.2%					
床荷重	20000 N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

外構緑化指数		0%		建物緑化指数		0%			
空地率	20%	水平投影面積率		0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%	
BPI/BPI _{lm}		－ 断熱等性能等級		対象外 相当					
自然エネルギー直接利用量		0 MJ/年㎡		採光を満たす教室数		0.0%		採光を満たす住戸数	0.0%
				通風を満たす教室数		0.0%		通風を満たす住戸数	0.0%
BPI/BPI _{lm}		非住宅	0.53	住宅	－	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW
								蓄電池	.0kW

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	50% 隣棟間隔指標Rw 0.40													
地表面対策面積率	0.0%		屋根面対策面積率	0.0%		外壁面対策面積率	0.0%							
見付面積Sb	543㎡		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	122.76 m		基準高さHb	8.8 m							
緑地	㎡		水面	㎡		保水性対策面	㎡		高反射対策面	㎡		再帰性反射対策面	㎡	